

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	早産 Small for Gestational Age 児の死亡退院および慢性肺疾患発症のリスク因子に関する後方視的研究		
1. 研究の目的と方法	在胎週数相当に育たなかった早産児が合併症を発症するリスク因子を明らかにし、児が生まれてくる最適な時期を検討します。診療録を用いて後方視的に情報を集めて行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	在胎32週未満で出生した出生時体重が平均値よりも小さい児で、2018年1月1日～2023年12月31日までの間に東京慈恵会医科大学附属病院 NICU に入院した新生児。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	児基本情報: 性別、在胎週数、出生体重、出生時頭囲、出生時身長、出生時胸囲、アプガースコア 母体基本情報: 年齢、妊娠歴、不妊治療の有無、妊娠合併症、分娩方法、胎盤病理 児の疾患情報: 出生後に受けた検査や治療	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 小児科学講座
		氏名	小林亮太
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日: 2024年5月頃～		

<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 小児科学講座 研究責任者：助教 小林 亮太（こばやし りょうた） 電話番号：03-3433-1111（内線 3111） 対応時間：平日 9：00～ 16：00
-----------------	--

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。